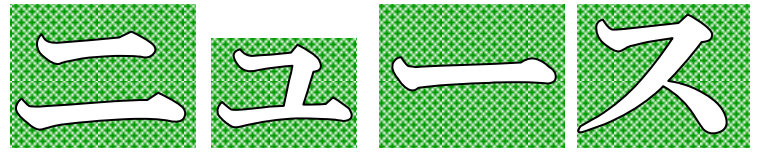


東日本旅客鉄道労働組合  
東京都渋谷区代々木2丁目2番6号  
JR新宿ビル13F〒151-8512  
Tel. 03-3375-5740 (代)  
発行責任者 古川建三

# JR東労組 本部OB会



No. 238 2017年 1月発行

## 新春クイズ

安倍政権は、昨年夏の参院選に勝利した勢いで、益々国会論議を軽視して強行採決を連発し、強引な国会運営を行っています。

### 《 問題 》

強行採決された年金制度改革関連法は、年金生活者を犠牲にする「年金○○○法」です。

#### 〔応募要領〕

- の中に適当な文字を入れて下さい。
- ★ヒントは、「OB会ニュース」をよく読んで、答えを見つけて下さい。
- ★ハガキに答えと住所・氏名・OB会員番号を書いてご応募ください。

<宛て先> ☎151-8512  
東京都渋谷区代々木2-2-6  
JR新宿ビル 13F JR東労組OB会

<賞品> 正解者の中から抽選で33名の皆さんに下記の賞品が当たります。

- ◆ 1 等 3名 1万円のびゅう商品券
- ◆ 2 等 5名 5千円のびゅう商品券
- ◆ 3 等 10名 3千円のびゅう商品券
- ◆ 特別賞 15名 1,000 円の図書券

<応募締切> 2017年1月25日 (消印有効)

<当選発表> 次号 No.239号 (2月号)

# 社会保障費を抑え、 防衛費は過去最高へ

## 驕る自民党、審議軽視で強行突破

### 今国会で成立した 重要法案

昨年9月26日から始まった第192臨時国会は、国民生活に直結する重要法案を十分な審議時間もとらず、2度に亘る会期延長の末、全ての法案を強行採決して閉会しました。その結果、来年度からは社会保障費が増加し最大5兆1千億円にも膨らんで「軍事大国」となります。

今国会で与野党が対立した主な重要法案は、「環太平洋経済連携協定(TPP)と関連法」と、「年金制度改革関連法」、「統合型リゾート(I-P)整備推進法(カジノ法)」です。自民党はこの3つの重要法案を成立させるのに委員会での審議はおろか、本会議でも時間をとらずに、公明党や日本維新の会と強行採決し成立させました。絶対に許す訳にはいきません。

### 指摘されている問題点

「TPP」を巡っては、米国のトランプ次期大統領の勝利によってTPP発効は絶望的になっているにも関わらず、安倍首相の面子のためだけに、無意味な強行採決をしました。

また公的年金の給付額の改定ルールを見直す「年金改革関連法」は、賃金や物価の変動に合わせて給付額を増減する「賃金・物価スライド」で、失敗続きのアベノミクスの経済政策の下では確実に年金生活者の年金給付額が削減される「年金カット法」なのです。

臨時国会の終盤になって急にクローズアップされた「カジノ解禁法」は、与党内や財界の中でも異論が出ている法で、「ギャンブル依存症」や「マネーロンダリング(資金洗浄)」「治安の悪化」等が問題とされています。いまカジノは、アジアでは過当競争となっており、中国からの富

### 今国会で見えたもの

自民党が「カジノ法」の成立に全力を上げた背景には、2025年に万博とカジノを大阪に誘致したい日本維新の会に配慮したもので、近い将来自民党に合流する動きがあるといわれています。

これに対して公明党は、党内で意志統一する時間が無く、初めて「自主投票」に追い込まれました。また民進党も、衆参で対応の違いを見せ、蓮舫代表の指導力不足と、同一歩調をとる野党間に不信感を与えました。

### 反対の闘いに立ち上がり

全ての団塊の世代が75歳以上になる2025年までは、これからも様々な見直しが行われます。今度の通常国会では、介護保険制度と医療費の見直しが予定され、益々高齢者の生活は圧迫されます。その一方で安倍政権は「軍事大国」確立のために、危険が伴う海外派遣の自衛隊員の待遇改善や大学の軍事研究費の大幅な増額など、5兆1千億円を超える過去最大の防衛予算を確保しようとしています。衆参両院で単独過半数の議席を取って驕り高ぶる安倍自民党政権に対して、今度こそ日本退職者連合の仲間達と共に反対の闘いに立ち上がらましょう！

裕層の来日客も減っており、客の8割は日本人になるといいう予想もすでにしています。

# J R 東労組中央本部が エルダー担当者会議を開く！ OB 会も参加して、現役と連携を確認

12月7日14時より、J R 東労組本部大会議室で、「エルダー担当者会議」が開催されました。この会議には、各地本の責任者とエルダー担当者、そして本部OB会の3名が参加しました。  
この会議は、昨年までは「エルダー組合員と中央本部役員との意見交換会」として開催されて来たものです。

## 明らかにになった悩み

会議は大塚組織担当部長の司会で進められ、奥山副委員長から、エルダー組合員も実施している「スト権確立の意思確認の一票投票」の現状報告がありました。本部OB会の古川会長は、エルダーの組合加入はOB会にとっても大事な事とあいさつしました。

会議では、エルダー組合員の組織率を高めていく議論が行われました。エルダー社員制度を使って再就職する組合員が、「組合継続をしないで、組合を脱退する人が出るのは何故か」、また「組合は継続しても、OB会に加入しない人が出るのは何故か」等について意見

## 名簿整理が大事

今回の会議は、事前に各地本から「取り組み」の報告があったので、内容も充実したものになりました。会議のまとめで本部の串田企画組織部長は、「エルダー職場の労働環境改善の取り組みは、今後も強化して行く。エルダー組合員の組織率を高めるには名簿整理をしっかり行って欲しい。この会議は今後も開催し、エルダーの全員組合加入を目指していく」と決意を明らかにして終了しました。

## わが町の 有名人

大宮地本OB会

大宮地本OB会が今回紹介する有名人は、加須市で地域活動をリード

されている浦和電車区分会OB会の中里静雄さんです。

中里さんは、昭和36年6月に尾久客車区に就職し、その後新宿客車区、浦和電車区(電車検査係)に転勤して60歳で退職しました。国鉄改革時には、国労と決別して真国労に加入し、その後東鉄労に合

## 各種役員で市民の顔に

流しました。J R 東労組浦和電車区分会では人望も厚く仲間からの信頼もあって、副分会長として組合員の先頭に立っていました。退職後は現役時代からやっている加

須市勤労者福祉協議会の活動を続け、勤労者運動会、ソフトボール、釣り等を企画したり、自然とふれあうため親子でのジャガイモ、サツマイモの植え付けや芋掘り等を行い、収穫の喜びを味わ



中里静雄さん(加須市在住・74歳)

ってもらい、いつも好評だそうです。現在も顧問としてアドバイス等をしながら、後継者の育成に努めています。そのような活動をされていますか

ら、商工会や行政との関わり合いもでき、行政の諮問機関である各種審議会や協議会等の委嘱を受けて、20年間ほど市民の顔」となっています。

# 松崎 明初代委員長の七回忌で J R 東労組が集会を開く

12月13日13時半からJ R 東労組は、松崎 明初代委員長の七回忌を迎え、都内の銀座フロッサム中央会館で「J R 東労組初代委員長 松崎 明七回忌 反動の嵐に抗し、時代を切り拓いた団結力でJ R 改革に立ち上げられ12・13集会」を開催しました。この集会には、全12地本の組合員やOBら750名が参加しました。

集会では元本部委員長の石川尚吾氏が、国鉄反合理化闘争の原点ともなった「尾久・田端基地統廃合反対闘争の意義」を、当時の尾久支部委員長の松崎さんのエピソードを交えながら話をしました。またJ R 総連の柳 明則書記長からは、松崎さんの提唱によってつくられ

## 本部OB会が墓参り

本部OB会はJ R 東労組初代委員長松崎 明さんの命日を前にした12月2日、埼玉県・高済寺境内にある松崎さんのお墓参りをしました。



綺麗に清掃されたお墓の前で古川会長は、残念な結果となった参院選と本部OB会結成20周年の取り組みを報告しました。

### 「我らの声」(第18号) 原稿締め切りは、 1月31日です!

- ◆ 作品は一人1編で1600字以内
- ◆ 各地本OB会に提出して下さい

た「国際鉄道安全会議」にまつわる報告がありました。  
集会の基調報告は約1時間に亘って吉川委員長が行い、その内容は、現在組合結成以来初めて取り組んでいる「スト権確立に向けた意志確認の一票投票」の実施状況と、格差をなくす17春闘に向けての本部の考え方を明らかにしました。  
その中で特に目についたのは、会社側からの「スト権」の取り組みに対する「組合悪者論」宣伝による妨害工作の動きでした。  
この日の集会は、J R 東労組運動の基礎を築いた松崎 明初代委員長を偲びながら、「松崎イズム」を再確認した集会でした。